

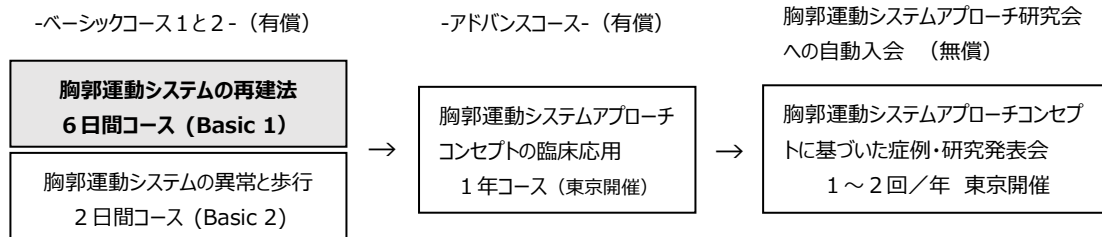
関係者各位

胸郭運動システムアプローチ講座 ベーシックコース1 鹿児島6日間コース開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびは、Breathing Care Tokyo 主催の「胸郭運動システムアプローチ講座」 ベーシックコース1 の開催についてご案内いたします。

ベーシックコースは、ベーシックコース1の「胸郭運動システムの再建法6日間コース」とベーシックコース2の「胸郭運動システムの異常と歩行2日間コース」から構成されております。これらベーシックコース1と2を修了されましたら、上位のアドバンスコースへとお進み頂けます。胸郭運動システムアプローチ講座の構成を以下にお示しいたします。



胸郭運動システムアプローチ講座の構成

このベーシックコース1では、胸郭をテーマにじっくり勉強したいとご賛同いただける先生方と一緒に、胸郭運動システムの再建について探求したい想いでこの講習会を企画いたしました。また、この度は鹿児島での地方開催となりますが、地方から東京へお越しいただくコストは計り知れなく、地方開催であれば交通費や滞在費のコストを削減できるという利点もこの度の企画になった経緯でもあります。6日間の講習を通してご参加いただけます先生方と十二分に話し合いを持てる会になればと、少人数制で開催いたします。原則として、講習会には全6回ご参加ください（難しい場合はご相談承ります。欠席回のビデオ聴講もあり）。胸郭運動システムの再建における基礎から臨床応用まで、理学療法介入を胸郭から行うことができ、臨床結果を引き出せるまでを目標にした内容になります（別紙参照）。ご興味をもていただける先生方にご参加いただければ幸いです。尚、ご参加をいただける場合は、お手数ですが、下記のメールアドレスまでお知らせください。ご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 開催日：2026年2月より開始

第1回 2月28日(土) 第4回 3月29日(日)
 第2回 3月1日(日) 第5回 4月25日(土)
 第3回 3月28日(土) 第6回 4月26日(日)

2. 講師：柿崎藤泰（文京学院大学）（講習サポート1名体制）

3. 時間：土曜日日程 14:00-19:00

日曜日日程 10:00-16:00（昼休憩1時間、計5時間）

4. 受講費：全6回分 ¥96,000（税込）（お申し込み後、お振込のご案内を致します）

5. 定員：30名（最小開催人数の20名）

6. 場所：霧島杉安病院

〒899-4201 鹿児島県霧島市霧島田口2143

7. お申し込み先・お問い合わせ先：

e-mail：breathingcaretokyo@gmail.com（セミナー事業部迄）

以下の項目をご記入ください。

- ① 氏名（ふりがな）
- ② 性別
- ③ 所属施設名（都道府県名含む）
- ④ 職種
- ⑤ 経験年数
- ⑥ メールアドレス（PC とスマートフォン）
- ⑦ 当日連絡可能な電話番号

※ 左記日程は現在での設定日になります。日程の確定は2025年12月末頃となり、変更があった場合早急にご連絡申し上げます。万が一変更が生じた場合は、各予定日の1週間前後に開催変更となる可能性があります。

尚、定員になり次第締め切らせていただき、キャンセル待ちにて受付いたします。

以上

[講習内容]

第1日目 胸郭運動システムの基礎 I 〔目的〕 胸郭運動システムについて理解する。 〔目標〕 胸郭運動システムについて理解したことを説明できる。 胸郭左側方偏位と右側方偏位の違いを説明できる。 胸郭左側方偏位と右側方偏位に対する評価ができる。 〔概要〕 1. 胸郭運動システムについて (1) 胸郭運動システムとは (2) 肋椎関節運動の定義 (3) 胸郭運動システムの異常 (4) 胸郭右側方偏位 (5) 胸郭左側方偏位における弊害 (6) システム異常に対する考え方	第2日目 胸郭運動システムの基礎 II 〔目的〕 胸郭の3つの運動パターンについて理解する。 各運動パターンが身体運動に及ぼす影響を理解する。 左側下位胸郭と浮遊肋に及ぼす筋の作用を理解する。 〔目標〕 胸郭の3つの運動パターンについて理解する。 対角線の関係をもつ胸郭運動パターンにおける正常と異常のメカニズムの相違を説明できる。 下位胸郭のニュートラル化の重要性を説明できる。 〔概要〕 2. 胸郭の Motor Function (1) 胸郭の機能分類 (2) 上下の関係をもつ胸郭運動 a) 典型的な偏位と運動パターン b) 運動メカニズム c) UAPとULP d) 呼吸運動による判定 e) 後足部安定性評価 f) 歩行での特徴
第3日目 胸郭運動システムの基礎 III 〔目的〕 胸郭の3つの運動パターンについて理解する。 各運動パターンが身体運動に及ぼす影響を理解する。 左側下位胸郭と浮遊肋に及ぼす筋の作用を理解する。 〔目標〕 胸郭の3つの運動パターンについて理解する。 対角線の関係をもつ胸郭運動パターンにおける正常と異常のメカニズムの相違を説明できる。 下位胸郭のニュートラル化の重要性を説明できる。 〔概要〕 2. 胸郭の Motor Function (3) 左右の関係をもつ胸郭運動 (4) 対角線の関係をもつ胸郭運動 a) 典型的な偏位と運動パターン b) 誘発する直接的要因 c) 誘発する間接的要因 d) EIMとFIM e) 左側下位胸郭に作用する Wrapping action f) Wrapping action における Task switching g) 下行性 EIMとFIM h) 上行性 EIMとFIM	第4日目 胸郭運動システムの再建 I 〔目的〕 胸郭のポジショニングの重要性について理解する。 〔目標〕 胸郭アライメント評価を的確に実行することができる。 胸郭のニュートラルポジションを的確に実行することができる。 〔概要〕 2. 胸郭の Motor Function (4) 対角線の関係をもつ胸郭運動 i) 胸郭アライメント評価/視診 j) 胸郭アライメント評価/徒手 k) 胸郭のポジショニング ・上位胸郭 ・下位胸郭と浮遊肋
第5日目 胸郭運動システムの再建 II 〔目的〕 上位胸郭と頸椎および肩甲骨運動の連鎖を理解する。 〔目標〕 頸椎運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。 肩の運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。 〔概要〕 3. 胸郭運動システムアプローチ (1) 頭頸部に対する課題 (2) 上肢帯および上肢に対する課題 (3) 左側下位肋骨と左側浮遊肋の動きの確認	第6日目 胸郭運動システムの再建 III 〔目的〕 レッドコードを用いた胸郭運動システムの再建法を理解する。 〔目標〕 レッドコードを用いた戦略にて胸郭のニュートラル化を図ることができる。 肩の運動にともなう上位胸郭の運動を的確に促進することができる。 〔概要〕 4. レッドコードを用いた胸郭運動システムアプローチ (1) 横隔膜の働きからインナーユニットを考える (Redcord での第1の実践方法) (2) 腰方形筋を正しく使わせるには… (Redcord での第2の実践方法) (3) 下位胸郭の剛性を高める方法 (Redcord での第3の実践方法)

[プロフィール]

1991年	3月	社会医学技術学院理学療法学科卒業 理学療法士国家資格取得
同年	4月	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション部勤務
1994年	4月	昭和大学医学部第二生理学教室特別研究生
1997年	4月	昭和大学附属豊洲病院リハビリテーション部主任として異動
1999年	12月	アメリカ呼吸管理学会 (American Association for Respiratory Care) 「Respiratory Care」にて 1999 年 Best Original Paper Award 受賞
2002年	3月	昭和大学医学部第二生理学教室 博士課程修了 (医学博士)
2006年	3月	昭和大学附属豊洲病院退職
同年	4月	文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科准教授として勤務
2012年	4月	同大学 保健医療技術学部教授、保健医療科学研究科教授として勤務
2017年	12月	Breathing Care Tokyo 株式会社 設立 現在に至る

[主な著書]

2013年	新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイドスー筋・骨格系理学療法 文光堂
2013年	呼吸リハビリテーションの理論と技術 改訂第2版 MEDICAL VIEW
2015年	理学療法技術の再検証 科学的技術の確立に向けて (理学療法 MOOK 17) 三輪書店
2016年	胸郭運動システムの再建法 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 三輪書店
2017年	運動のつながりから導く肩の理学療法 文光堂
2017年	胸郭運動システムの再建法 第2版-呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 ヒューマン・プレス社
2020年	運動のつながりから導く姿勢と歩行の理学療法 文光堂

[主なビデオ・CD]

2014年	胸郭運動システムの再建法 ～運動器として捉えた胸郭の機能評価と治療展開～ ジャパンライム社
2017年	胸郭運動システムの再建法セミナー ～レッドコードを利用した治療戦略～ ジャパンライム社

